萬葉和歌集

第四

特別
へ4
7465
4

萬葉集卷第四

相聞

仁徳御宇也

難波天皇妹奉上在山跡皇兄御歌一首

舒明御宇之

崗本天皇御製一首并短歌

額田王思近江天皇作歌一首

此歌有第八卷秋相聞初本

諸本皆同

同前何年之

鏡王女作歌一首

吹黄刀自歌二首

田部忌寸櫟子任太宰時歌四首

柿本朝臣人麻呂歌四首
基檀越往伊勢國時留妻作歌一首
柿本朝臣人麻呂歌三首
柿本朝臣人麻呂歌一首
阿部女郎歌二首
駿河采女歌一首
三方沙彌歌一首
丹比真人笠麿下ル讃岐國ニ時作歌一首并短歌

幸伊勢國時當麻麻呂大夫妻作歌一首
草嬢歌一首
志貴皇子御歌一首
阿倍女郎歌一首
中臣朝臣東人贈阿倍女郎歌一首
阿倍女郎報贈歌一首
大納言兼大將軍大伴卿歌一首

石川郎女歌一首 姓未詳佐伯大家也

大伴女郎歌一首 拿城王之母也拿城王者後賜姓大伴氏也

後人追同歌一首

藤原宇合大夫遷任上京時常陸娘子贈歌一首

大伴郎女和歌四首 佐伯大納言卿之女也

大伴坂上郎女歌一首

天皇賜海上女王御歌一首 事樂宮即位天皇也

海上女王奉和歌一首 志貴皇子之女也

大伴宿奈麻呂宿禰二首 佐伯大納言卿之弟三子也

安貴王戀歌一首并短歌

門部王戀歌一首

高田女王贈拿城王歌六首

神龜元年甲子冬十月幸紀伊國之時爲贈從駕人所誂娘子並朝臣金村作歌一首并短

歌

二年乙丑春三月。三香原離宮之時。得娘子笠朝臣金村作歌一首 并 短歌

五年戊辰太宰少貳石川朝臣足人遷任餞于筑前國蘆城驛家歌三首

大伴宿禰三依歌一首

後 本 前 同六者每本如此但至歌者又每本後三依歌次丹生女王哥載之不審

丹生女王贈太宰帥大伴卿歌二首

太宰帥大伴卿贈大貳丹比縣守卿遷任民

部卿歌一首

賀茂女王贈大伴宿禰三依歌一首

土師宿禰水通從筑紫上京海路作歌二首

太宰大監大伴宿禰百代戀歌四首

大伴坂上郎女歌二首

賀茂女王歌一首

太宰大監大伴宿禰百代等贈驛使歌二首

太宰帥大伴卿被任大納言臨入京之時府

官人等餞卿于筑前國蘆城驛家歌四首

大宰帥大伴卿上レ京之後蒲讐沙彌贈卿歌

二首

大納言大伴卿和歌二首

大宰帥大伴卿上京之後筑後守葛井大成

連悲嘆作歌一首

大納言大伴卿新袍贈攝津大夫高安王歌

一首

大伴宿禰三依悲別歌一首

金明軍與大伴宿禰家持歌二首 明軍者大納言卿之資人

大伴坂上家之大孃(余イ)報贈大伴宿禰家持歌

四首

大伴坂上郎女歌一首

大伴宿禰稻公贈田村大孃歌一首 姉坂上郎女作

笠女郎贈大伴宿禰家持歌廿四首

大伴宿禰家持和歌二首

山口女王贈大伴宿禰家持歌五首

大神女郎贈大伴宿禰家持歌一首

大伴坂上郎女恕恨歌一首 并 短歌

西海道節度使判官佐伯宿禰東人妻贈夫君歌一首

佐伯宿禰東人和歌一首

池邊王宴誦歌一首

天皇思酒人女王御製歌一首 女王者穗積皇子之孫女也

高安王裳鬳贈娘子歌十首 市原王後賜姓大市氏也

八代女王獻 天皇歌一首

娘子報贈佐伯宿禰赤麻呂歌一首

佐伯宿禰赤麻呂歌一首

大伴四綱宴席歌一首

佐伯宿禰赤麻呂歌一首

湯原王贈娘子歌二首 未詳王者皇子之男也

娘子報贈歌二首

湯原王亦贈歌二首

娘子復報贈歌一首

湯原王亦贈歌一首

娘子復報贈歌一首

湯原王人亦贈歌一首

娘子復報贈歌一首

湯原王歌一首

紀女郎怨恨歌三首 廣人大夫之女名曰小鹿也 安貴王之妻也

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌一首

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌一首

大伴宿禰三依離復相歡歌一首

大伴坂上郎女歌二首

大伴宿禰駿河麿歌三首

大伴坂上郎女歌六首

市原王歌一首

安都宿禰年魚一首

大伴像見歌一首

安倍朝臣蟲麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌二首

厚見王歌一首

春日王歌一首 志貴皇子之子母曰多紀皇女也

湯原王歌一首

和歌一首 作有未詳 不審作者

安倍朝臣蟲麻呂歌一首

大伴坂上郎女歌二首

中臣女郎贈大伴宿禰家持歌五首

大伴宿禰家持與交遊別久歌三首

大伴坂上郎女歌七首

大伴宿禰三依悲別歌一首

大伴宿禰家持贈娘子歌二首

大伴宿禰千室歌一首 未詳

廣河女王（一云）歌二首 穗積皇子之孫女上道王之女也

石川朝臣廣成歌一首 後賜姓高圓朝臣氏也

大伴宿禰像見歌三首

大伴宿禰家持到娘子之門作歌一首

河内百枝娘子（モヽエヲヤ）贈大伴宿禰家持歌二首

巫部麻蘇娘子（カムナギベノマソヲトメ）歌二首

大伴宿禰家持贈童女（ソトメニ）歌一首

童女和（シテ）贈大伴宿禰家持（ニキメシモチ）來報（カヘス）歌一首

粟田娘子贈大伴宿禰家持歌二首

豐前國娘子大宅（オホヤカ）女歌一首 未審姓氏也

安都扉（アトビラカ）娘子（ムスメノ）歌一首

丹波大女娘子（オホメガムスメノ）歌三首

大伴宿禰家持贈娘子歌七首

獻（アヘアリ）天皇歌一首 大伴坂上郎女在佐保宅作之也

大伴宿禰家持歌一首

大伴坂上郎女従跡見庄贈賜留宅女子大嬢歌一首 并短歌

獻天皇歌二首 大伴坂上郎女在春日里作也

大伴宿禰家持贈坂上家大嬢歌二首

大伴坂上大嬢贈大伴宿禰家持歌三首

又大伴宿禰家持和歌三首

同坂上大嬢贈家持歌一首

又家持和坂上大嬢歌一首

同大嬢贈家持歌二首

又家持和坂上大嬢歌二首

更大伴宿禰家持贈坂上大嬢歌十五首

大伴田村家之大嬢贈姉坂上大嬢歌四首

大伴坂上郎女従竹田庄贈賜女子大嬢歌二首

紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首 女郎名曰小鹿也

大伴宿禰家持和歌一首

在久邇京思留寧樂宅舊京坂上大嬢大伴
宿禰家持作歌一首
藤原郎女聞之即和歌一首
大伴宿禰家持更贈大嬢歌二首
大伴宿禰家持報贈紀女郎歌一首
大伴宿禰家持從久邇京贈坂上大嬢歌五
首
大伴宿禰家持贈紀女郎歌一首

紀女郎報贈家持歌一首
大伴宿禰家持更贈紀女郎歌五首
紀女郎裹物贈友歌一首 女郎名曰小鹿也
大伴宿禰家持贈娘子歌三首
大伴宿禰家持報贈藤原朝臣久須麻呂歌
二首
又家持贈藤原朝臣久須麻呂歌二首
藤原朝臣久須麻呂來報歌二首

相聞

仁徳天王

難波天皇妹奉上在山跡皇兄御謌一首

ヒトヒ コソヒトモ マケツゲナガキケヲ カク マタルレバ アリエタヘズモ

一日社人母待告長氣乎如此所待者有不得勝

舒明天皇

岳本天皇御製一首 并短歌

カミヨヨリ アレツギクレバ ヒトガハニクニ ハミチテ アギムラノ

神代從生繼來者人多國爾波滿而味村乃去

トハユケド ワガコフルキミニ アラズバ ヒルハヒノ

雖往跡吾戀流君爾不有者晝波日乃久

ルヽニヨルハヨノアクルキハミオモヒツヽイモヲガテニ

流留麻弖夜者夜之明流寸食念乍寐宿難爾

登阿可思通良父茂長此夜乎

反歌

山羽爾味村騷去奈禮騰吾者左夫思恵君二

四不在者

淡海路乃鳥籠之山有不知哉川氣乃巳呂其

侶波戀乍裳將有

右今案高市岳本宮後岡本宮二代二帝各有異焉但僻岡本天皇未審其指

額田王思近江天皇作歌

君待登吾戀居者我屋戸之簾動之秋風吹

風乎太爾戀流波乎之風小谷將來登時待者

何香將嘆

鏡王女作歌一首

吹黄刀自歌二首

眞野之浦乃與騰乃繼橋情由毛思哉妹之伊

目爾之所見

河上乃伊都藻之花乃何時何時来益我背子
カハカミノイツモノハナノイツモイツモキマセワガセコ
時自異目八方
トキワカメヤ
○脫帥字乳

○田部忌寸櫟子任太宰時歌四首

衣手爾取等騰已保里哭兒爾毛益有吾乎置
コロモデニトリトドコホリナクコニモマサレルワレヲオキ
而如何將爲
テイカバセム
吉年
含人

置而行者妹將戀可聞敷細乃黒髪布而長此
キテユカバイモコヒムカモシキタヘノクロカミシキテナガキコノ
夜乎
ヨヲ

吾妹兒矣相令知人乎許曽戀之益者恨三念
ワキモコヲアヒシラセケムヒトヲコソコヒノマサレバウラメシミオモヘ

朝日影爾保敝流山爾照月乃不飽君乎山越
アサヒカゲニホヘルヤマニテルツキノアカズカキミヲヤマゴエ
爾置手
ニヲキテ

○柿本朝臣人麻呂歌四首

三熊野之浦乃濱木綿百重成心者雖念直不
ミクマノノウラノハマユフモヽヘナスコヽロハオモヘドタヾニアハ
相鴨
ヌカモ

古爾有兼人毛如吾歟妹爾戀乍宿不勝家牟
イニシヘニアリケムヒトモワガゴトカイモニコヒツヽイヘニネカテニケム

今耳之行事庭不有古人曽益而哭左倍鳴四
イマノミノワザニハアラズイニシヘノヒトゾマサリテ哭サヘナキシ
毛
モ

百重二物来及毳常念鴨公之使乃雖見不飽
モヽヘニモキシジョベカモトモヒツカヒノミレドアカザ

有哉

暮檀越往伊勢國時留妻作歌一首

神風之伊勢乃濱荻折伏客宿也將爲荒濱邊

爾

柿本朝臣人麻呂歌三十首

未通女等之袖振山乃水垣之久時從憶寸吾

者

夏野去小牡鹿之角乃束間毛妹之心乎忘而

念哉

珠衣乃狹藍左謂泥家妹爾物不語來而思金

津裳

柿本朝臣人麻呂妻歌一首

君家爾吾住坂乃家道乎毛吾者不忘命不死

者

安倍女郎歌二首

今更何乎可將念打靡情者君爾縁爾之物乎

吾背子波物莫念事之有者（アラバ）小爾毛水爾毛吾（ワレ）
莫七國

駿河妹女歌一首

敷細乃（シキタヘノ）枕從又々流涙二曾浮宿乎（ナミダニゾウキフシヲ）思家類（オモヒケル）
乃繁爾（ケニケニ）

三方沙彌歌一首

衣手乃別今夜從妹毛吾母甚戀（コロモテノワカレモイタクコヒム）名相因乎奈
美

冊此真人笠麻呂下（ル）筑紫國（ニ）時作歌一首 并

短歌

臣女乃匣（オミノクシゲ）尓乗有鏡成（ノスルカガミナス）見津乃濱邊爾狹丹頬
相紐解不離吾妹兒爾戀（フヒモトキサケズワキモコニ）乍居者明晩乃旦霧
隱鳴多頭乃哭（ナクタヅノ）耳之所哭吾戀流千重乃一隔
母名草漏情毛有哉跡家當吾立見者青旗乃
蔦木山爾多奈引流白雲隱天佐我留寒乃國
邊爾直向淡路乎過粟島乎背爾見管朝名寸

二水手之音喚暮名寸二梶之聲焉乍浪上乎
五十行左具久美磐間乎射往廻稻日都麻浦
箕乎過而鴈泊物魚津左比去者家乃島荒磯
之宇倍爾打靡四時二生有莫告我奈騰可聞
妹爾不告來二計謀
反歌
白妙乃袖解更而還来武月日乎數而往而來
猿尾

此歌在卷一末

幸伊勢國時當麻呂大夫妻作歌一首
吾背子者何處將行已津物隱之山乎今日踰
超良武

草嬢歌一首
秋田之穗田乃刈婆加香縁相者彼所毛加人
之吾乎事將成

志貴皇子御歌一首
大原之此市柴乃何時鹿跡吾念妹爾今夜相

良之下疑奈脫

有香裳

阿倍女郎歌一首

吾背子之蓋世流衣之針目不落入爾家良之我情副

中臣朝臣東人贈阿倍女郎歌一首

獨宿而絕西紐結思見跡曲武爲便不知哭耳之曾泣

阿倍女郎答歌一首

ミヤヲヒトル又一說

吾以在三相二搓流絲用而附手益物今曾悔寸

大納言兼大將軍大伴卿歌一首

補任大納言正五位上勳二等大伴安麻呂和銅七年五月一日薨贈從二位在宮十一年ウツタヘ詔贈ロトヅト

神樹爾毛手者觸云乎打細丹人妻跡云者不觸物可聞

石川郎女歌一首 即佃作偏大伴大家也

春日野之山邊道乎與曾理無遍之君我不所見許呂香裳

大伴女郎歌一首　金城王之母也今城王後嬰姓大原真人氏也

雨障常爲公者久堅乃昨夜雨爾將懲鴨　徵

後人追同歌一首

久堅乃雨毛落糠雨乍見於君副而此日令晩

藤原宇合大夫遷任上京時常陸娘子贈歌一首

庭立麻手刈干布慕東女乎忘賜名

東職大夫藤原大夫賜大伴卿女歌三首　卿諱百磨也

嬬等之珠匣有玉櫛乃神家武毛妹爾阿波受有者

好渡人者年毋有云乎何時間曾毛吾戀爾來

蒸被奈胡也我下丹雖臥與妹不宿者肌之寒

大伴女郎歌四首　坂上也

狹穗河乃小石踐渡夜干玉之黒馬之來夜者

年爾毋有糠

千鳥鳴佐保乃河瀬之小浪止時毛無吾戀爾
（チドリナクサホノカハセノサヾレナミヤムトキモナシワガコフラクハ）
將來云毛不來時有乎不來云乎將來常者不
（コムトイフモコヌトキアルヲコジトイフヲコムトハマタ）
待不來云物乎
（チドリナクサホノカハトノセヲヒロミウチハシワタスナンデ）
千鳥鳴佐保乃河門乃瀬乎廣彌打橋渡須奈
（クルトオモヘバ）
我來跡念者
右郎女者佐保大納言卿之女也初嫁一
品穗積皇子被寵無儔而皇子薨之後時
藤原麻呂大夫娉之郎女焉郎女家於坂
上里仍嶺氏号曰坂上郎女也

又大伴坂上郎女歌一首
佐保河乃涯之官能小歷木莫刈鳥在乍毛張
之來者立隱金
天皇賜海上女王御歌一首
赤駒之越馬柵乃縅結師妹情者疑毛奈思
右今案此哥擬古之作也但以往當便賜
斯歌歟

幸事誤ミトヨミテ事イクハ擬刻ミテ言書ノ也

海上女王奉和歌一首 志貴皇子之女也

梓弓引夜音之遠音毛君之御幸乎聞之好毛

大伴宿奈麻呂宿禰歌二首 佐保大納言第三子也

打日指宮爾行兒乎眞悲見留者苦聽去者爲便無

難波方塩干之名凝飽左右二人之見兒乎吾

問爲妹吾毛

安貴王歌一首 并短歌

遠嬬此間不在者玉桙之道乎多遠見思空安莫國嘆虛不安物乎水空徃雲爾毛欲成高飛鳥爾毛欲成明日去而於妹言問爲吾妹毛事無爲妹吾毛事無久今裳見如副而毛欲得

反歌

敷細乃手枕不纏間置而年曾經來不相念者

右安貴王娶因幡八上采女係念極甚愛

情尤盛於時勅斷不敬之罪退却本郷焉
于是王意悼怛恥作此歌也

門部王戀歌一首

飫宇能海之塩干乃滴之片念爾思哉將去道
之永手呼

右門部王任出雲守時娶部内娘子也未
有幾時既絶往來累月之後更起愛心仍
作此歌贈致娘子

高田女王贈今城王歌六首

事清甚毛莫言一日太爾君伊之哭者痛寸取
物

他辞乎繁言痛不相有寸心在如莫思吾背

吾背子師遂常云者人事者繁有登毛出而相
麻志呼

吾背子爾後者不相香常思基今朝別之爲便
無有都流

ヨノヨ ニハ ヒトゴトシゲミコムヨ ニモ アハム ワガセコ イマナラ
現世爾波人事繁來生爾毛將相吾背子今不
ズトモ
有十方
トコトハニ カヨヒシ キミガ ツカヒ ヨ ニ
常不止通之君我使不來今者不相跡絶多比
アナタノ心ニドダヘアルカ ヌラシ
奴良思

神龜元年甲子冬十月幸紀伊國之時爲贈
ヲ
從駕人所誂娘子並朝臣金村作歌一首 并
ニ ヨメル ベラ
短歌

スメロギ ノ ミユキ ノ マニ〳〵モ フノヤ ソ トモノヲ トノ イデユキ
天皇之行幸乃隨意物部乃八十伴雄與出去
ヤソ ハガ ヒモ アカツキ
之夜明時

ウツクシツマハ アニトブヤ カルノミチヨリタマダ スキウ子ビ シ ミツ〳〵
愛夫者天翔哉輕路從玉田次畝火乎見管
アサモヨイキギ ニ ツチヤマコユラム キミニバ モミヂバ
麻裳吉木道爾入立真玉山越良武公者黃葉
チリトブミツ〳〵紀ノ ムカヘヲ シバオモハジ クサマクラタビシ タヨリ トオモヒ
乃散飛見乍親吾者不念草枕客乎便宜常思
ツ〳〵キミニハ アラムトアソニ カツハ シレドモシルカ
乍公乎有跡安蘇爾破旦者雖知之加須我
ニハモダエ アラヲ ハワビセコガ ユキノマニ〳〵シ ヲ ハム ト
仁默然得不在者吾背子之往乃萬〳〵將追跡
タビオモヘトタヨヤメハ エチ ハヒモリノ ワガミニシアレバ ミチモリノ トハム
者千遍雖念手娟女乎吾身之有者道守之將問
コタヘヲイニ ヤラムスベ ナミ タチテツヅノ
答乎言將遣爲便乎不知跡立而爪衝

反歌

後居而戀乍不有者木國乃妹背乃山爾有益
物乎

吾背子之跡蹈求追去者木乃関守伊將留鴨

二年乙丑春三月幸三香原離宮之時得娘
子作歌一首 并短歌

笠朝臣金村

三香之原客之屋取爾珠桙乃道能去相爾天
雲之外耳見管言將問緣乃無者情耳咽乍有
憑有今夜秋夜之百夜乃長有與宿鴨

反歌

天雲之外從見吾妹兒爾心毛身副緣西鬼尾
今夜之早開者爲便無三秋百夜乎願鶴鴨

五年戊辰大宰少貳石川足人朝臣遷任餞
于筑前國蘆城驛家歌三首

天地之神毛助與草枕羈行君之至家左右

走疑去誤 夜イ

大船之念憑師君之去者吾者將戀名直相左
オホブネノ オモヒタノミシ キミガ イナバ ワレハ コヒム ナ タダニアフマデ

右二
ヤマトヂノ ミチノ ウラワ ニ

山跡道之島乃浦廻爾縁浪間無牟吾戀巻者
ヨスルナミ アヒダモナケム ワガコヒマクハ

右三首作者未詳

大伴宿禰三依歌一首
ワガキミハ ワケヲバ オモヘカ アフヨ アハヌ ヨ フメ

吾君者和氣乎波死常念可毛相夜不相夜二
ワレヲバ 我ト身下ノ時第八巻ニモアリ

走良武
ユクラム

丹生女王贈大宰帥大伴卿歌二首

淺疑退誤 食當作飲

▲互待イ 氏待

天雲乃遠隔乃極遠鴈跡裳情志行者戀流物
アマグモノ ソキヘノ キハメトホケレト モ コヒロレ ユケバ コフルモノ

可聞
カモ

古人乃令食有吉備能酒痛者為便無貫簀賜
イニシヘノヒトノ サケヤモハバス ベナ ヌキス タバ

牟
ム

大宰帥大伴卿贈大貳丹比縣守卿遷任民
ヤカタモリ

部卿歌一首
キミガタメカミ ツミシ

為君醸之待酒安野爾獨哉將飲友無二思手
ヒトリヤ ノマム トモナシニ シテ

賀茂女王贈大伴宿禰三依謌一首 故佐大臣長屋王也

疑立之誤見

ツクシブ子マダモ コザレ ハアラカジメアラフルキミ ヲミルガ カナシサ

筑紫舩未毛不來者濃荒振公乎見之悲左

土師宿禰水通從筑紫上京海路作歌二首

ヤホブチシ コギノ スヽミニ イハニフレカヘラバ カヘレイモニ ヨリテハ

大舩乎擧擢乃進爾磐爾觸寢者覆妹爾因而者

チハヤフルカミノ ヤシロニ ワガカケシヌサハ タハラムイモニ アハナクハ

千磐破神之社爾我掛師幣者將賜妹爾不相

ニ ワレ

國

太宰大監大伴宿禰百代戀歌四首

コトモナクアリコシモノヲ キヒナミカ、ルコヒニモワレ

事毛無生來之物乎老奈美爾如此戀丁毛吾

ハアヘルカモ ヤミ

者遇流香聞

孤悲死牟後者何爲牟生日之爲社妹乎欲見

コヒシナム ノチハナニセム イケルヒノ タメコソイモヲ ミマホシカリ

爲禮

オモハヌヲ オモフト イハバ キホノ

不念乎思常云者大野有三笠杜之神思知三

イトマナキ ヒトノ ユユシ イタヅラニ カミ

無暇人之眉根乎徒令掻作不相妹可聞

大伴坂上郎女歌二首

クロカミニ シラヌノ オヒタレド カヽルコヒニハ アヘヌタアハナクニ

黒髮二白髮交至者如是有戀庭未相爾

ヤマスゲノ ミ ナラヌ コトヲ ワレ

山菅乃實不成事乎吾爾所依言禮師君者與

トカヌラム ヨリイハレシ キミハタレ

孰可宿良牟

ヨキヽ穗ニサキ出ス真ナ鏡見ヌメノ浦ナドノ類ナリ

和名抄ニ麻布ヲ麁服ト云ヒ細布ヲ細服ト云ヒ苧ノ實ナラストイヒ山苧ノ實ナラストハイヒカケタリ山苧ハ實ヲ結ブ物ユヘ實ナラストイヒ下ニ實ヲ結ブ物ユヘ實ナラストイヒ下ニ實ヲ結ブ物ユヘ實ナラストイヒ下ニ

賀茂女王歌一首

大伴乃見津跡者不云赤根指照有月夜爾直相在登聞

大宰大監大伴宿禰百代等贈驛使歌二首

草枕羈行君乎愛見副而曾來四鹿乃濱邊乎

右一首大監大伴宿禰百代

周防在磐國山乎將超日者手向好爲與荒其道

大宰帥大伴卿万葉集不詳其名安續日本紀天平三年七月大納言從二位大伴旅人薨雜波朝右大臣長傳之孫大納言贈從二位安麻呂之子也

右一首少典山口忌寸若麻呂

以前天平二年庚午夏六月帥大伴卿忽生瘡脚疾苦枕席因此馳驛上奏望請庶弟稻公姪胡麻呂欲語遺言者勅右兵庫助大伴宿禰稻公治部少丞大伴宿禰胡麻呂兩人給驛發遣令着卿病而逕數旬幸得平復于時稻公等以病既療發府上京於是大伴宿禰百代少典山口

追換補任大納言從二位大伴旅人宿禰雜波朝右大臣長傳之孫大納言贈從二位安麻呂之子也

神龜元年二月正三位天平二年十一月廿一日任大納言三年從二位七月一日薨

日本紀云補任相合已旅人卿也但補任云大宰帥年月不見不審也補任無任大宰帥之文

忌寸若麻呂及郷男家持等相送驛使共
到夷守驛家聊飲悲別乃作此歌

木宰帥大伴卿被任大納言臨入京之時府
官人等餞卿筑前國蘆城驛家歌四首

三埼廻之荒礒爾縁五百重浪立毛居毛我念
流吉羨

右一首筑前掾門部連石足

幷人之衣深染之情爾染而所念鴨

山跡邊君之立日乃近者野立鹿毛動而曽鳴

右二首大典麻田連陽春

月夜吉河音清之率此間行毛不去毛遊而將
歸

右一首防人佐大伴四綱

木宰帥大伴卿上レ京之後沙彌滿誓贈卿歌
二首

真十鏡見不飽君爾所贈哉旦夕爾左備乍將

居
メクバ タマノ クロカミカハリシラゲテ モ イタキコヒニハアフトキアリケリ
野宁玉之黒髮變白髮手裳痛戀庭相時有來

大納言大伴卿和歌二首

コヽニアリテ ツクシヤイヅコシラクモノ タナビクヤマノ カタニシ
此間在而筑紫也何處白雲乃棚引山之方西
アルラム
有良思

クサカエノ イリエニアサルアシタヅノ アナタヅタヅシ
草香江之入江二求食蘆鶴乃痛多豆多頭思
モトナヲモヒソ
友無二指天

太宰帥大伴卿上京之後筑後守葛井連大

成悲嘆作歌一首

イニヨリハキヤマミチハサビシケムワガカヨハムト オモヒシモノヲ
從今者城山道者不樂牟吾將通常念之物乎

大納言大伴卿新袍贈攝津大夫高安王歌

一首

ワガキヌヲヒトニナキセソ アビキスルナニハシトカノテニハフルトモ
吾衣人莫著曾網引為難波壯士乃手爾者雖觸

大伴宿禰三依悲別歌一首

アメツチト トモニヒサレクスマハムト オモヒテアリシイヘノニハハモ
天地與共久住波牟等念而有師家之庭羽哀

朱カミノキ分

金明軍與大伴宿禰家持歌二首 明軍者大納言卿之資人也

奉見而未時太爾不更者如年月所念君

アシビキノ ヤマニ オヒタルスガノネノ ネモコロミテ クリホレキキミニカモ

足引乃山爾生有菅根乃懃見巻欲君可聞

大伴坂上家之大娘報贈大伴宿禰家持歌 嬢

四首

イキテ アレバ ミマクモ シラズ ナニシカモ ナトヌ ヨイモト ユメニ

生而有者見巻不知何如毛将死與妹常夢

ミエツル

所見鶴

マスラヲモ カク コヒケル ヲ

丈夫毛如此戀家流乎幼婦之戀情爾此有目

ヤモ

八方

ツキクサノ ウツロヒヤスク オモヘカ モ ワガオモフヒトノ コトモ ツゲコヌ

月草之徙安久念可母我念人之事毛告不来

カスガ ヤマ アサタツクモノ ホレキ キミキモ ヌヒ ナリミ マクノ

春日山朝立雲之不居日無見巻之欲寸君毛

アルカモ

有鴨

大伴坂上郎女歌一首

イデ イナム トキシ ハ アラム ヲ コトサラニツマゴヒシ ツ、タチテ ユノ

出而将去時之波将有乎故妻戀為乍立而可

ベシヤ

去哉

大伴宿禰稲公贈甲村大嬢歌一首 大伴宿禰者卿也

不相見者不戀有益乎妹乎見而本名如此耳
戀者奈何將爲

右一首姉坂上郎女作

坂上郎女贈大伴宿禰家持歌廿四首

坂女郎贈大伴宿禰家持歌廿四首

吾形見見管之努波世荒珠年之緒長吾毛將
思

白鳥能飛羽山松之待乍曾吾戀度此月比乎
衣手乎打廻乃里爾有吾乎不知曾人者待跡
不來家留
荒玉年之經去者今師波登勤與吾背子吾名
告爲莫
吾念乎人爾令知哉玉匣開阿氣津跡夢西所
見
闇夜爾鳴奈流鶴之外耳聞乍可將有相跡羽
奈之爾
君爾戀痛毛爲便無見賜山之小松下爾立嘆

鴨 カモ
ワガヤ ドノ ユフカゲグサノ シラツユノ ケヌカニモトナ オモホユルカモ
吾屋戸之暮陰草乃白露之消蟹本名所念鴨
ワガイノチノ マタケム カギリワスレメ ヤイヤヒニケニハ キモヒマストモ
吾命之将全幸限忘目八弥日異者念益十方
ホカ ユクハマノ ミサゴモ ワガコヒニ アニマサラメヤ オキツシマモリ
八百日往濱之沙毛吾戀二豈不益歟奥島守
ウツセミノ ヒトメヲ シゲミ イレバシノヘ ギカキキミニ コヒワタルカモ
宇都蟬之人目乎繁見不石隠間近君爾戀度可
モ
聞
コヒニ モゾ ヒトハ シニスルミチセ ガハシタニ ワレヤスッキニヒニケニ
戀爾毛曽人者死為水瀬河下從吾痩月日異
アサギリノ ホノニアヒミシ ヒトユヘニ イノチシヌベクコヒワタルカモ
朝霧之薾相見之人故爾命可死戀渡鴨

イセノウミノ イソモトドロニ ヨスルナミカシコキトニ コヒワタルカモ
伊勢海之磯毛動爾因流浪恐人爾戀渡鴨
コヽロニモ ワレハオモハズヤマカハモ ヘダヽラナリニ カクコヒムト
從情毛吾者不念寸山河毛隔莫國如是戀常
モハザリキ
ハ
羽
ユフザレハ モノオモヒマサルミ シ ヒトノ コトヽヒシ サヾオモカゲニシ チ
暮去者物念益見之人乃言問為形面景為而
オモヒニシシニスルモノニ アラマセバ メヒソ ワレハ シニカヘラコシ
念西死為物爾有麻世波千遍曽吾者死變益
ツルギ タチ ミ ニ トリソフト ユメニミツ ナニノ サトシソノ モ キミ
劔太刀身爾取副常夢見津何如之怪曽毛君
ニ アハムタメ
爾相為
アメツチノ カミモコトハリナクハ コソワガオモフキミニ アハズシニセメ
天地之神理無者社吾念君爾不相死為目

吾毛念人毛莫忘多奈和丹浦吹風之止時無
レ
有

皆人乎宿與殿金者打禮杼君乎之念者寐不
勝鴨

不相念人乎思者大寺之餓鬼之後爾額衝如
レ
自

従情毛我者不念寸又更吾故郷爾將還来者
近有者雖不見在乎彌遠君之伊座者有不勝
自

右二首相別後更来贈

大伴宿禰家持和歌二首

今更妹爾將相八跡念可聞幾許吾胷欝悒將
有

中々者黙毛有益呼反何為跡香相見始兼不遂
等

右件歌等雖別卷所載今以便故更累于茲

大伴宿禰家持歌五首

山中女王贈大伴宿禰家持歌五首

物念跡人爾不見常奈麻殊常念斐利在曽金

津流
不相念人乎也本名白細之袖漬左右二哭耳
四泣裳
吾背子者不相念跡裳敷細乃君之枕者夢爾
見乞
劔太刀名惜雲吾者無君爾不相而年之經去
禮者
從蘆邊滿來塩乃彌益荷念歟君之忘金鶴

大神女郎贈大伴宿禰家持歌一首
狹夜中爾友喚千鳥物念跡和備居時二鳴乍
本名
大伴坂上郎女怨恨歌一首 并短歌
打照難波乃菅之根毛許呂爾君之聞四乎年
深長四云者真十鏡磨師情乎縦手師其日之
極浪之共靡珠藻乃云云意者不持大船乃憑
有時丹千磐破神哉離空蟬乃人歟禁良武

念當作今

遍爲君毛不來座玉梓之使母不所見成奴禮
婆痛毛爲便無三夜千玉乃夜者須我良爾赤
羅引日母至闇雖嘆知師乎無三雖念田付乎
白二物婦常言雲知久手乎小童之哭耳泣管俳
徊君之使乎待八兼手六

反歌

從元長謂管不念恃者如是念二相益物歟

此見聖武紀天平四年

西海道節度使判官佐伯宿禰東人妻贈夫

鷺の未解

君歌一首

無間戀爾可有年草枕客有公之夢爾之所見

佐伯宿禰東人和歌一首

草枕客爾久成宿者汝乎社念莫戀吾妹

池邊王宴謌歌一首

松之葉爾月者由移去黄葉乃過哉君之不相

御製歌一首

女王者穂積皇子
寺王者後賜姓大
原真人氏

夜多鳴

鳥妄誤

天皇思酒人女王

道相而咲之柄爾零雪乃消者消香二戀云吾
妹
高安王裳紲贈娘子歌一首 高安王者後賜姓大原真人氏
奥幣往邊去伊麻夜爲妹吾漁有藻臥束鮒
八代女王獻天皇歌一首
君爾因言之繁乎古郷之明日香乃河爾潔身
爲爾去
一尾云龍田超三津之濱邊爾潔身四二

由久
娘子報贈佐伯宿禰赤麻呂歌一首
吾手本將巻跡念乎大夫者戀水定白髪生二
有
佐伯宿禰赤麻呂和謌一首
白髪生流事者不念戀水者鹿葱藻關二毛求
而將行
大伴四綱宴席歌一首

仙覚曰上ニミエキ情ナキト志

ナニヒニカ ツカヒノ キツル キミシ コソトニモカクニモ マチガテニス・レ
奈何鹿使之來流君乎社左右裳待難爲禮

佐伯宿禰赤麻呂歌一首

ハツハナノ チルベキモノヲ ヒトゴトノ シゲキニ ヨリテ トマル コロ カモ
初花之可散物乎人事乃繁爾因而止息比者

鴨

湯原王贈娘子歌二首 未審王子也

ウハベ ナキモノカモ ヒトハ シカバカリ トホキイヘヂヲ カヘストオモヘ ヤスム イコフ
宇波弊奈伎毛能可毛 比登波 志加婆加利 登保伎伊敝治乎 加敝須登於毛倍

娘子報贈歌二首

イクソバクオモヒケ メカモシキタヘノ ヤヘニ シテ ミレド アカヌ クサマクラタビニモツマト アルガ トモシ サ
幾許思異目鴨數細之 八重爾 志而 見禮杼 不飽 草枕客爾毛妻與 有之 友

湯原王亦贈歌二首

クサマクラタビニハイモハ イタレドモハコノウチナル タマトコソオモヘ
草枕客者嬬者雖 在 匣内之珠社所 念

ワガキヌノカタミニ マクラカラサズ キテ サ子 マセ
余衣形見爾奉 布細之 枕不 離 巻而左宿座

片恐不誤不去トシテ机サラズテト訓ヘシ

之疑衍字 幸

イカニ セム
奈何責

娘子復報贈歌一首（ワガセコガカタミノコロモツマドヒニ同シ心ニワガミハサケジコトハズトモ）
吾背子之形見之衣嬬問爾余身者不離事不問友

湯原王亦贈歌一首（タマヘヒトヨヘタテシカラニアラタマノツキカヘヌルトオモホユルカモ）
直一夜隔之可良爾荒玉乃月歟經去跡心遮

娘子復報贈歌一首（ワガセコガカクコフレコソヌバタマノユメニミエツヽ）
吾背子我如是戀禮許曾夜于玉能夢所見管

湯原王亦贈歌一首（ハシケヤシニヂカキサトヲクモ井ニヤコヒツヽフラムツキ）
波之家也思不遠里乎雲居爾也戀管將居月

娘子復報贈和歌一首（タユトイヘバワビシミサムトヤヨシヤワガキミ）
絶常云者和備渋責跡焼太刀乃隔付經事者
幸也吾君（ケクヤワキミ）

湯原王歌一首（ワキモコニコヒテミダルヽクシロノソデカワクルベキニカケテシヨシトヨシトワガ）
吾妹兒爾戀而亂在久流部寸二懸而縁與余

戀始

紀女郎怨恨歌二首 鹿人大夫之女名曰小鹿也 安貴王之妻也

世間之女爾思有者吾渡痛背乃河乎渡金目 大和

八

今者吾羽和備曽四二結類氣乃緒爾念師君乎縦左思者

白妙乃袖可別日乎近見心爾咽飲哭耳四所流汝

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

丈夫之思和備尓遍多嘆久嘆乎不負物可聞

大伴坂上郎女歌一首

心者忘日無久雖念人之事社繁君爾阿禮

大伴宿禰駿河麻呂歌一首

不相見而氣長久成奴比日者奈何好去哉言借吾妹

大伴坂上郎女歌一首

有疑行

復當作後

夏蔦之不絶使乃不遍有者言下有妬念鶴鴨
ナツクズノ タエヌ ツカヒノ カヨバチバ コトニモアルゴトオモヒツルカモ

右坂上郎女者佐保大納言卿女也駿河
ニヒダカツラ クニノカミ

麻呂此疑者高市大卿之孫也兩卿兄弟之家
タイトウ

女孫姑姪之族是以題歌送答相問起居
當作贈

大伴宿禰三依離復相歎歌一首 歡
ワキモ コハトコヨノクニ、スミケラシ ニケリ

吾妹兒者常世國爾住家良思昔見從變若益
ムカシミシヨリワカヘリマシヲ

爾家利

大伴坂上郎女歌二首

變疑議字

久堅乃天露霜置二家里宅有人毛待戀奴蠶
ヒサカタノ アマノツユシモオキニケリイヘニアルヒトモマチコヒヌラム

玉主爾珠者授而勝旦毛枕與吾者辜二將宿
タマモチニ タマハ サヅケテカツガツモ タマクラトワレハ イザフタリネム

大伴宿禰駿河麻呂歌二首
カスガホクツキソ ニケル

情者不忘物乎黨不見日數多月曾經去來
コヽロニハワスレヌモノヲ ダニ アヒミヌ ヒカズオホクツキソヘニケル

相見者月毛不經爾戀云者乎曾呂登登吾乎於
アヒミテハ ツキモヘナクニ コフトイヘバ ソロトソワレヲ

毛保寒毳
モ ホ サムカモ

不念乎思常云者天地之神祇毛知寒邑禮左
オモハヌヲ オモフトイハバ アメツチノ カミモシルカニサトレサ

變
カハリ

大伴坂上郎女歌六首

吾耳曽君爾者戀流吾背子之戀云事波言乃名具左曽

不念常曰手師物乎翼酢色之變安寸吾意可聞

雖念知僧裳無跡知物乎奈何幾許吾戀渡

豫入事繁如是有者四恵也吾背子與裳何如荒海藻

汝乎與吾乎人曽離奈流乞吾君人之中言聞

起名湯目

戀戀而相有時谷愛寸事盡手四長常念者

市原王歌一首

網兒之山五百重隱有佐堤乃埼左手蠅師子之夢二四所見

安部宿禰補年足歌一首

佐穂度吾家之上二鳴鳥之音夏可思吉愛妻

似恐誤

之兒（ノコ　アフーミレニニバアリキクシ）

大伴宿禰像見歌一首

石上零十方雨二將関哉妹似相武登言義之（イソノカミフルトモアメニサハラメヤイモニアハムトチギリシ　家）

鬼尾（モノヲ）

安倍朝臣蟲麻呂歌一首

向座而雖見不飽吾妹子二立離徃六田付不知毛（ムカヒヰテミレドモアカヌワキモコニタチワカレユカムタツキシラズモ）

大伴坂上郎女歌二首

不相見者幾久毛不有國幾許吾者戀乍裳荒鹿（アヒミテハイクヒサレサモアラナクニココバワレハコヒツヽモアルカ）

戀戀而相有物乎月四有者夜波隱良武須臾（コヒくテアヒタルモノヲツキシアレバヨハコモルラムシバシ）

羽叡待（ハエマテ）

右大伴坂上郎女之母石川内命婦與安倍朝臣蟲滿之母安曇外命婦同居姉妹同氣之親焉緣此郎女蟲滿相見不踈相談既容耶作戲歌以爲問荅也（トウケノヒトシカリヤテレノタハレウタヲモチテトヒコタフルナリ）

色付山ハ擬訓ニテ雲ノ移リユクヲ云

厚見王謌一首

朝爾日爾色付山乃白雲之可恩遇君爾不有國

春日王歌一首 志貴皇子之子毋曰多紀皇女也

足引之山橘乃色丹出而語言継而相事毛将有

湯原王歌一首

月讀之光二来益足疾乃山乎隔而不遠國

和歌一首 不審作者

月讀之光者清雖照有感情不堪念

安倍朝臣蟲麻呂歌一首

倭文手纏數二毛不有壽持奈何幾許吾戀渡

大伴坂上郎女歌二首

大伴坂上郎女歌一首

真十鏡磨師心乎縦者後爾雖云驗将在八方

真玉付彼此兼手言齒五十戸常相而後社悔

二破有跡五十戸

中臣女郎贈大伴宿禰家持歌五首

娘子部四咲澤二生流花勝見都毛不知戀衰

摺可聞

海底奥乎深目手吾念有君二波將相年者經

十方

春日山朝居雲乃鬱不知人爾毛戀物香聞

直相而見而者耳社靈剋命向吾戀止哉

不欲常云者將強哉吾背菅根之念亂而戀管

毋將有

大伴宿禰家持與交遊別歌三首

蓋毛人之中言聞可毛幾許雖待君之不來益

中々爾絶年云者如此許氣緒爾四而吾將戀

八方

將念人爾有莫國慰情盡而戀流吾毳

大伴坂上郎女歌七首

謂言之恐國曾紅之色莫出曾念死友

伊ニハ　ワレハ　シナム　ヨ　ワガセ　イケリト　モ　ワレニ　ヨルベシト　イフ
今者將死與吾背生十方吾二可縁跡言
ト　イハナク　ニ
跡云莫苦荷
ヒトゴトヲ　シゲミヤ　キミヲ　フタサヤノ　イヘヲ
人事繁哉君乎二鞆之家乎
コノゴロニ　チ　トセヤ　ユキモ　スギヌルト　ワレヤ　シカオモフミテクホリカモ
此者千歳八往裳過與吾哉然念欲見鴨
ウツクシト　ワカオモフコ、ロハヤカハノ　セクトモナシヤ　クヅレム
愛常吾念情速河之雖塞々友猶哉將崩
アヲヤマ　ヲヨコギルクモノ　イチジロク　ワレト　ヨミシ　テ　ヒトニ　シラル
青山乎横切雲之灼然吾共咲爲而人二所知
ナ
名
ウミヤマ　モ　ヘダテナク　ニ　ナニシ　カモ　ミルコトヲ　ダニモ　コ、タ　トモシキ
海山毛隔莫國奈何鴨自言乎谷裳幾許乎寸

大伴宿禰三依悲別歌一首
テレル七　ヲ　ヤミニ　ミ　ナシテ　ナクナミダコロモヌラシツ　ホスヒトナシニ
照日乎闇爾見成而哭涙衣沾津干人無二
大伴宿禰家持贈娘子歌二首
モ、シキノ　オホミヤビトハ　オホカレド　コ、ロニ　ノリテ　オモホユルイモ
百礒城之大宮人者雖多有情爾乗而所念妹
ウハベ　ナキイモニ　モ　アルカモ　カクバカリヒトノコ、ロヲ　ツクスト　キモヘ
得羽重無妹二毛有鴨如此許人情乎令盡念
バ
者
大伴宿禰千室（ノ）歌一首　（千ムロ）　（細字）未詳
カクシ　ノミコヒヤ　ワタラムアキツノ　ニタナビククモノ　スグト
如此耳戀哉將度秋津野爾多奈引雲能過跡
ニ作

者無二

廣河女王歌二首

戀草呼力車二七車積而戀良苦吾心柄
（草ニ作ル）

戀者今葉不有常吾羽念乎何處戀其附見繫
（穗積皇子之孫女上道王之女也古本ニ作ル）

有

石川朝臣廣成歌一首
（後賜姓高圓朝臣氏也）

家人爾戀過目八方川津鳴泉之里爾年之歷
（山城之名所）

去者

大伴宿禰像見謌三首

吾聞爾繫莫言刈薦之亂而念君之直香曾
（多クハ不絶雨ノフリシクゲキニ）

春日野爾朝居雲之敷布二吾者戀益月二日
（多クハ所ニ作ル）

二異二

一瀨二波千遍障良比逝水之後毛將相今爾

不有十方

大伴宿禰家持到娘子之門作歌一首

如此爲而哉猶八將退不近道之間乎煩參來

而

河内百枝娘子贈大伴宿禰家持歌二首

波都都波都爾人乎相見而何将有何日二箇又

外二将見

夜干玉之其夜乃月夜至于今日吾者不忘無

間嗟思念者

巫部麻蘇娘子歌二首

吾背子乎相見之其日至于今日吾衣手者乾

時毛奈志

栲繩之永命乎欲苦波不絶而人乎欲見社

大伴宿禰家持贈童女歌一首

葉根蘰今為妹乎夢見而情内二戀度鴨

童女來報歌一首

葉根蘰今為妹者無四乎何妹其幾許戀多類

粟田娘子贈大伴宿禰家持歌二首

思遣為便乃不知者片垸之底曽吾者戀成爾

大宅女三字疑當小書

家類（ケル）（注云境之中）（ヤカラ）（アハム）（ヨレモ）
復毛將相因毛有奴可白細之我衣手二齋留
（マタモ）（アラヌ）（カシロタヘノ）（ワガコロモデ）（ニ）（イハヒトツ）（メム）
目六

豐前國娘子大宅女歌一首（カホヤケ）

（ユフヤミハ）（ミチタヅタヅシ）（ツキニケテ）（ユカムワガセ）（コ）（ソノマ、）
夕闇者路多豆多頭四待月而行吾背子其間
（ニモ）（ミム）（タドタドシ）
爾毛將見
（アヒツハドビバ）（イニセ）（イユケ）（ユカセ）

安都扉娘子歌一首（ミ）

（ソラユクツキノ）（ヒカリニ）（タビヒトメ）（アヒミシ）（ヒトノ）（イメニシミ）
三空去月之光二直一目相三師人之夢西所

見（ユメ）

丹波大（ヲホ）娘子歌三首

（カモトリノ）（アソブコノイケニ）（コノハオチテ）（ウカベルコ、ロワガオモハナクニ）
鴨鳥之遊此池爾木葉落而浮心吾不念國
（ウマサケヲ）（ミワノ）（ハフリガ）（イハフスギテ）（アヒガタキ）
味酒呼三輪之祝我忌杉手觸之罪歟君二遇
難寸（イミ）

（カキホ）（ナスヒトゴトキ、チ）（ワガセコ、ロタ）（ユタ）（ニ）（アハヌ）
垣穗成人辭聞而吾背子之情多由多比不合
（コノゴロ）（ナ）
頃者

大伴宿禰家持贈娘子歌七首

狩当作猶惑疑感誤

情爾者思渡跡縁乎無三外耳爲而嘆曽吾爲
千鳥鳴佐保乃河門之清瀬乎馬打和多思何
時将通

夜晝云別不知吾戀情盖夢所見寸八

都禮毛無将有人乎狩念爾吾念者感毛安流
香

不念爾妹之咲儀乎夢見而心中二燎管曽呼
留

丈夫跡念流吾乎如此許三禮二見津禮片思
男責

村肝之於摧而如此許余戀良苦乎不知香安
類良武

獻天皇歌一首 大伴坂上郎女在佃保宅作也

足引乃山二四居者風流無三吾爲類和射乎
害目賜名

大伴宿禰家持歌一首

呼未詳

如是許戀乍不有者石木二毛成益物乎物不
思四手 一云衍

大伴坂上郎女從跡見庄贈賜留宅女子大
孃歌一首 并短歌

常呼二跡吾行莫國小㠀門爾物悲良爾念有
之吾兒乃刀自緒野干玉之夜晝跡不言念二
思吾身者痩奴嘆丹師袖左倍沾奴如是許名
姉之戀曾夢爾所見
家留

右歌報賜大孃進歌也

反歌

朝髮之念亂而如是許名姉之戀曾夢爾所見
家留

右歌報賜大孃進歌也

獻 天皇歌二首 大伴坂上郎女在寺月里作也

二寶鳥乃潜池水情有者君爾吾戀情示左禰
外居而戀乍不有者君之家乃池爾住云鴨二
有益雄

大伴宿禰家持贈坂上家大孃歌二首 雖絶數年

後會相聞

往來云云 古来ワスレグサワガミタモニツケタレドキミノシルコグサコトニアラナクニ

萱草吾下紐爾著有跡鬼乃志許草事二思安利家理

萱草 俗云忘草 (470) 頭痛之患乃忘草吾下紐爾著有者雖思益憂吾妹

人毛無國毋有糠吾妹兒與携行而副而將座

糠 糠

大伴坂上大孃贈大伴宿禰家持歌三首

玉有者手二母將卷乎欝悒乃世人有者手二

卷難石

將相夜者何時將有乎何如爲常香彼夕相而

事之繁裳

吾名者毛千名之五百名爾雖立君之名立者

惜社泣

又大伴宿禰家持和歌三首

今時有四名之惜雲吾者無妹丹因者千遍立

十方

空蟬乃代也毛二行何爲跡鹿妹爾不相而吾

獨將宿（ヒトリ　子ム）
吾念如此而不有者玉二毛我真毛妹之手二（ワガ　オモヒ　カリ　シテアラズ　ハ　タマニモ　カ　マコトモ　イモ　ガテ　ニ　常左毛）
所纏牟（マカシ　ナム　ヤマスンバ）

同坂上大嬢贈家持歌一首（カスガ　ヤマニカスミタナビキコノロク　クテルツキヨ　ニ　ヒトリカモ　子ム）
春日山霞多奈引情具久照月夜爾獨鴨念（ヲホアカシ　ヲモヒアヒシモ）
二訖

又家持和坂上大嬢歌一首（古来ツキヨニハカドニイデタチユフケトヒアシウラヲゾ　シュカマク）
月夜爾門出立夕占問足卜乎曾爲之行（ヲホヒ）
乎欲焉

同大嬢贈家持歌二首（古来カニカクニヒトハイフトモワカサヂノ　ノチセノヤマノ　ノチモ　アハム）
云々人者雖云君狹道乃後瀨山之後毛將念（トノミカクノミ　新撰遠トニカクニ　君狹）

君（ヨノナカノ　クルシキモノニ　アリケラク）
世間之苦物爾有家良久戀二不勝而可死念（コヒニ　タヘズテ　シヌベクオモヘ）
者（バ）

又家持和坂上大嬢歌二首（ノチセ　ヤマノチモ　アハムト　オモフコソシヌベキモノヲ　ケフマデモ）
後湍山後毛將相常念社可死物乎至今日毛
生有（アレ　新校）

事耳乎後手相跡慙吾乎令憑而不相可聞
コトノミシ ノチモ アハム トヲモロニワレヲ タノメテ アハザラメカモ
不實ナリ

更大伴宿禰家持贈坂上大孃歌十五首

夢之相者豈有家里覺而搔探友手二毛不所
ユメニアハバ アニアラジ サメテカキサグレドモ テニモフレ
子

觸者
ヒトヘ

一重耳妹之將結帶乎尚三重可結吾身者成
ノミイモガ ムスビシオビヲ スラニ ヘ ムスベクワガミ ハ ナリヌ

吾戀者千引乃石乎七許頸二將繫母神之諸
ワガコヒハ チビキノイシヲ ナ、パカリクビニ カケテモベノ カミノモロ
計イ

伏
ユフガレハ

暮去者屋戸開設而吾將待夢爾相見二將來
ヤド アケマケテ ワレマ タム ユメニ アヒミニ コムト

詞大言而怒又讀也責也

云比登乎
イフヒトヲ

朝夕二將見時左倍也吾妹之雖見如不見由
アサユフニ ミム トキサ ヘ ヤ ワキモコガ ミレド ミヌ ガト ナシ

戀四家武
コヒシケム

生有代爾吾者未見事絶而如是恠鑄流嚢
イケルヨニ ワレハ マダミズ コトタエテ カク アハレゲニ ヌヘル フクロ
オモヒコロノ 言

者
ハ

吾妹兒之形見乃服下著而直相左右者吾將
ワキモコガ カタミノ コロモシタニキ テ タヾニアフニ デハ ワレヌガ

脫八方
メヤモ

戀死六其毛同曾奈何爲二人目他言辛痛吾
コヒシナム ソレモ オナジゾ ナニ セムニ ヒトメ ヒトゴト コチタクワレ
苦ガカニキシ

將爲（セム）
夢二谷所見者社有如此許不（ユメニダニミエバコソアラメカクバカリミエズテアルハコヒテシ子トカ）見有者戀而
死跡香（オモヒタエワビニシモノヲナカラクニナニカクルシクアヒミソメケム）
念絕和備西物尾中々爾奈何辛苦相見始兼
相見而者幾日毛不（アヒミテハイクカモヘヌヲコヽパクルヒニクルヒヒニモ）經乎幾許久毛久流比爾
久流必所念鴨（ヒサシクモホユルカモ）
如是許面影耳所念者（カクバカリオモカゲニノミオモホユバイカニカモセムヒトメシゲクテ）何如將爲人目繁而
相見者須臾戀者奈木六香登雖念彌戀益來（アヒミテハシバシモコヒハナギムイカニカヤトモヘドイトゴコヒニサリケリ）

夜之穗杼呂吾出而（ヨノホトロワガイデヽクレバ）來者吾妹子之念有四九
四面影二三湯（オモカゲニミユ）
夜之穗杼呂出都追（ヨノホトロイデツヽクラク）來良久遍多數成者吾胷
截燒如（キリヤクガゴト）

大伴田村家之大孃贈妹坂上大孃歌四首
外居而戀者苦吾妹子（ヨソニヰテコフレバクルシワキモコ）乎次相見六事計爲與（トホクアレバワビテモアルヲツギテアヒミムコトバカリセヨ）
遠有者和備而毛有乎（トホクアレバワビテモアルヲ）里近有常聞乍不見之（サトチカクアリトキヽツヽミヌガ）
爲便奈沙（スベナサ）

日本紀云方便言（テメカルトヨメル文意ノ字ヲモヨメリ）
常ニ今アサムキ（タブラカスヲメカレトイフノニハアラズ）

白雲之多奈引山之高々二吾念妹乎将見因
毛我母 清濁
何時爾加妹乎牟具良布能機屋戸爾入将座
右田村大嬢坂上大嬢并是右大辨大伴
宿奈麻呂郷之女也卿居田村里号曰田
村大嬢但妹坂上里仍
日坂上大嬢亓時姉妹諮問以歌贈答
大伴坂上郎女従竹田庄贈賜女子大嬢歌
二首
打渡竹田之原爾鳴鶴之間無時無吾戀良久
波
早河之湍爾居鳥之縁乎奈彌念而有師吾兒
羽裳恠
紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首 女郎名曰小鹿也
神左夫流磯乃浦廻乃
神左夫流磯之浦廻乃
二佐夫之家乎牟可聞

玉緒乎沫緒二搓而結有者在手後二毛不相
（タマノヲ　アハヲ　ニ　ヨリテ　ムスベラバ　アリテ　ノチニ　モ　アハザラ）
（メヤモ　今ノアハヌヲヒトリ）
在目八方

大伴宿禰家持和歌一首

百年爾老舌出而與余牟友吾者不厭戀者益
（モヽトセニ　オイシタイデヽヨ　ム　トモワレハ　イトハジコヒハ　マス）
（トモ　クチヒソミ　フルトモ）
友　ホヽイテヒソム多本

在二久邇京一思二留寧樂宅一坂上大孃大伴宿禰家持作歌一首

一隔山重成物乎月夜好見門爾出立妹可將
（ヒトヘ　ヤマカサナルモノヲ　ツキヨヨミ　カドニ　イデタチイモガ　マツ）

待

藤原郎女聞之即和歌一首

路遠不來常波知有物可良爾然曾將待君之
（ミチトホミコジトハシレレドモ　モノカラニ　シカゾ　マツラム　キミガ）
目乎保利　御コトバヲゴトク

大伴宿禰家持更贈大孃歌二首

都路乎遠哉妹之比來者得飼飯而雖宿夢爾
（ミヤコヂヲ　トホクヤイモガ　コノゴロハ　ウケテ　ヌレド　ユメニ）
不所見來

今所知久邇乃京爾妹二不相久成行而早見
（イマシラス　クニノミヤコニ　イモニ　アハズ　ヒサシクナリヌユキテ　ハヤミ）

奈

大伴宿禰家持報贈紀女郎歌一首

久堅之雨之落日乎直獨山邊爾居者鬱有來

大伴宿禰家持從久邇京贈坂上大孃歌五首

人眼多見不相耳曾情左倍妹乎忘而吾念莫

偽毛似付而曾爲流打布嚢真吾妹兒吾爾戀

目八

夢爾谷將所見常吾者保杼毛友不相志恩諾

不所見武

事不問木尚味狹藍諸菊等之練乃村戸二所

詐来

百千遍戀跡云友諸茅等之練乃言羽志吾波

不信

右三首未詳

大伴宿禰家持贈紀女郎歌一首

鶉鳴故郷從念友何如裳妹爾相縁毛無寸

紀女郎報贈家持歌一首

事出之者誰言爾有鹿小山田之苗代水乃中

與杼爾四手

大伴宿禰家持更贈紀女郎歌五首

吾妹子之屋戸乃笆乎見爾往者蓋從門將返

却可聞

打妙爾前垣乃酢堅欲見將行常云哉君乎見

爾許曾

板葺之黒木乃屋根者山近之明日取而持將

參來

黒樹取草毛刈乍仕目利勤知氣登將譽十方

不在一云仕

野干玉能昨夜者今還今夜左倍吾乎還莫路

之長手呼

紀女郎裹物贈友歌一首　女郎名曰小鹿

烏疑冒

風高邊者雖吹爲妹袖左倍所沾而刈流玉藻
カゼタカミヘニハ　フケドモイモカタメソデサヘ　ヌレテカレルヽタマモ
烏

大伴宿禰家持贈娘子歌三首

前年之先年從至今年戀跡奈何毛妹爾相難
ソトヽシノ　サキツトシヨリコトシマデ　コフレド　ナゾモ　イモニ　アヒガタキ
打仁二波更毛不得言夢谷妹之手本乎纒宿
ウツヽニハ　サラニモ　イヒエヌハズガ　ユメニダニイモガ　タモトヲ　マキヌ
常思見者
トコシミバ
吾屋戸之草上白久置露乃壽毋不有情妹爾
ワガヤドノクサノウヘヲシロクヲケルツユノ　イノチモ　ヲシカラズ　イモニ
アハザルバ
不相有者

大伴宿禰家持報贈藤原朝臣久須麻呂歌
シ　ル　ス

三首

春之雨者彌布落爾梅花未咲久伊等若美可
ハルノ　アメハ　イヤシキフルニ　ウメノハナ　イマダサカナクイト　ワカミカ
モ

聞
本　イメノミトアモモホユルカモヨシヱヤシ　キミガツカヒノ　イチジク　カヨヘバ

如夢所念鴨愛八師君之使乃麻禰久通者
ハシキ

浦若見花咲難寸梅乎殖而人之事重三念曽
ウラワカミ　ハナサキガタキ　ウメヲ　ウエテ　ヒトノ　コトシゲミ　オモヒゾ
ワガスル

吾爲類

又家持贈藤原朝臣久須麻呂歌二首
シ　ル

情八十一所念可聞春霞輕引時二事之通者
（コヽロク、オモホユルカ　モ　ハルカスミタナビクトキニ　コトノ　カヨヘバ）
春風之聲爾四出名者有去而不有今友君之
（ハルカゼノ　オトニシ　イデナ　バ　アリユキテ　イマナラズ　トモキミガ）
隨意

藤原朝臣久須麻呂來報歌二首

奥山之磐影爾生流菅根乃懃吾毛不相念有
（オクヤマノ　イハカゲニ　オフル　スガノネノ　ネモコロワレモ　アヒオモハザレ）
哉
（ハルサメヲ　ミツトニシ　アラシ　ワガヤドノ　ワカキノ　ウメモ）
春雨乎待常二師有四吾屋戸之若木乃梅毛
（マツラクノミ）
未含有
（イマダフヽメリ）

萬葉集卷第四